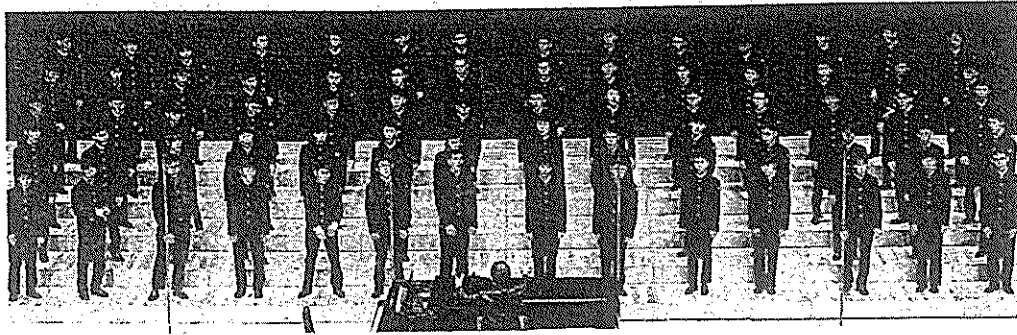


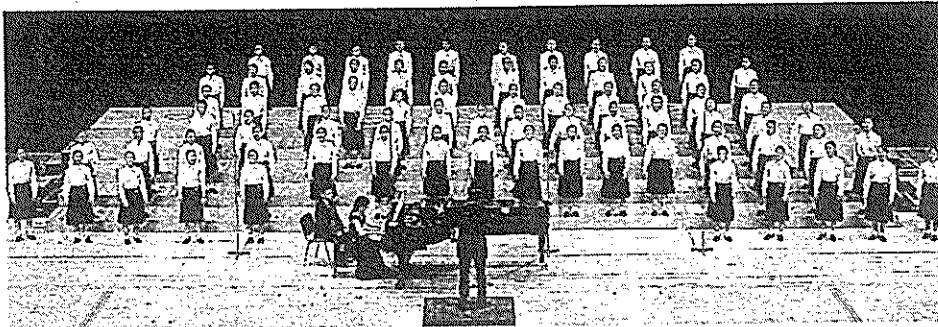
県浦和が初の最高賞

全日本合唱コン 松山女子は3位

大阪市のフェスティバルホールで28日に開かれた第70回全日本合唱コンクール全国大会（全日本合唱連盟、朝日新聞社主催）の高校部門で、関東支部代表で県内から5校出場し、県立浦和が最高賞の文部科学大臣賞に初めて輝き、松山女子も3位にあたる大阪市教育委員会賞を受賞した。両校はともに金賞で、叡明と浦和第一女子、星野は銀賞だった。



美しい歌声を響かせる
県立浦和の生徒たち



浦和第一女子の生徒たち
いずれも大阪府北区のフェスティバルホール、滝沢美穂子撮



出場校で唯一、男声合唱を披露した浦和は、ラテン語のミサ曲の詩を異教徒の視点で捉えた信長貴富作曲の「Credo」を熱唱した。「神様を信じたいが、世の中には信じられない現象がたくさん起きている」という複雑な気持ちを含め、70人が重層的な力強いアカペラで会場を魅了した。諏訪智也部長（3年）は「みんな歌いながら高揚していくのがわかり、最高という言葉では言い表せないほどの演奏になった。積み重ねてきた努力が実り、楽しい舞台になった」。

朝日新聞 2017年10月29日 埼玉版

承諾番号 17-6099

（朝日新聞社に無断で転載することを禁じる）